



初動は素早く！補球は正確に！！

写真：上郷野球スポーツ少年団にバント処理を指導する
 TDK硬式野球部・岩佐選手 =関連ページ6ページ=

主な内容

- にかほ市体育協会スポーツ賞表彰… P 2～5
- まちの話題…………… P 6～7
- 行政情報チャンネル…………… P10～11
- 暮らしの掲示板…………… P12～13
- 戸籍の窓口、3月のカレンダー P15

vol.227

2015

3.1

がんばろう東北

風物詩

心のふるさとを訪ねて

前川 白椿



県の天然記念物に指定されている、前川集落・齋藤さん宅の白椿。開花期は12月中旬から4月上旬で、見頃の3月は白色の八重の花が咲き誇り壮観です。

白椿は、暖地性の高木であり、温暖地域の指標の1つとされているヤブツバキの一種です。当地域に自生するヤブツバキは、気候に対応して小型化したものが多く、早春に赤い花をつけますが、白い花は見られません。ツバキには多様な花色の園芸品種があることから、この白椿も同様のものと考えられます。所有者の先祖が600年前にこの地に移った際に植えたと言えられており、園芸品種の地方的保存種として貴重です。

根回りは1.2m、樹高は約6mで、主幹のほかに、根回り30cmほどの幹が傍生しており、この地域最大の高木です。

蛸満寺 夜泣きの椿



毎年、11月下旬から4月下旬にかけて、多数の花を咲かせる蛸満寺境内の「夜泣きの椿」。早春には椿の花の蜜を求めてヒヨドリなどの野鳥が多く集まります。

樹高は約8m、樹齢は約700年の古木で、幹は地上から数本に分かれ勇壮な構えをしています。

今から約200年前、蛸満寺24世の覚林は、九十九島の景観を守るために、領主の六郷公と争っていました。ある日、覚林に追っ手が迫りましたが、それを逃れ江戸へたどり着く事ができました。それは、境内のこのツバキが前夜に泣き声を出して異変を告げたおかげと言い伝えられています。

数々の言い伝えを秘めて「夜泣きの椿」は今、静かにたたずんでいます。

